

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人日南福祉会

I 事業の概要

1. 総括

令和5年5月に、新型コロナウイルス感染症の感染症分類が2類から5類に変わり、インフルエンザと同等の位置づけとなり、新型コロナウイルス感染症による制限が解除されました。当法人においては、5月以降も面会やサービス利用時にはマスクの着用、手指消毒、検温をお願いし施設及び事業所を利用させていただきました。しかし、7月下旬に特養のユニット、12月下旬にはグループホームにてご利用者のコロナ罹患があり、日々ご利用者の体調確認を行うとともに、職員の健康状態の把握と、体調不良時には速やかに休めるよう職場環境を整え、感染拡大防止に努めました。

5年度も物品、流通価格などの生活における経費が徐々に高騰してきました。総合経済対策による電気・ガス料金、燃料油価格の抑制効果等もありましたが、国際的な原材料価格の上昇や、円安による海外からの輸入コストの増加といった状況が続けば、今後の運営にも大きく影響するものと考えられます。

このような状況下のもと令和5年度は、特養、グループホームの施設サービスの充実と訪問介護、通所介護事業の効率化や事業運営における体制強化など、法人として次の項目を重点的な項目と位置づけ取り組みました。

1. 人材確保並びに人材育成と組織強化
2. 事業継続を踏まえた改革推進
3. 地域との連携と情報発信

事業の運営については、安全、安心のサービス提供を第一に、関係機関との連携も図りながら、ご利用者に必要な介護サービスを提供しました。近年は在宅で生活されている方々の状況が変化し、要介護度重度のご利用者については施設への入所が増え、在宅では要介護度軽度のご利用者が比較的多く見受けられるようになりました。日南町独自の中山間地域での介護サービス確保対策事業の支援を活用する中で、訪問介護及び通所介護について、関係機関とも連携を図り、ご利用者の状況を踏まえてニーズに沿ったサービス提供ができるように取り組みましたが、ガソリン代等の高騰で現況は厳しい状況です。

特養あかねの郷に介護支援システム『ライブコネクト』を導入しました。令和5年3月からトライアルを実施して、10月に本導入設置を行い稼働しています。導入にあたっては、県の補助金、日南町の補助金を活用させていただきました。介護支援システムの導入により、ご利用者の離床を早く感知し、転倒などのリスク軽減やベッド上でのコールや変化を感知して素早く対応できることや、夜勤職員の負担軽減、訪室回数の減少に寄与しています。

職員の確保については、ハローワーク、福祉人材センター、ふるさと鳥取県定住機構等への求人掲載と合わせて、有償の求人サイトへの掲載を行いました。コロナ禍の採用

活動はオンラインが主流でしたが、5月以降、感染症対策をとった上で対面での説明会が行われるようになりました。ハローワーク等説明会を通して求人の応募があり採用に至りました。また、職場見学を行った高校生に、奨学金を受けて就学する学生の支援として、日南町介護福祉人材育成奨学資金を利用し進学した方もおられ、今後の採用活動につなげています。他に、職員紹介制度により3名の採用を行いました。

人材育成は、新人職員を特養において3年間の育成プログラムをもとに、日頃の業務での指導に加え、定期的な面談や必要な研修への参加など、一人一人の成長段階を確認しながら育成に取り組みました。法人職員の事業における必要な外部研修や資格取得については助成制度により支援を行いました。また、あかねの郷において介護職員初任者研修を開講し、職員1名、外部1名の2名の方に、介護員としての基本的な知識や技術を習得してもらう機会となりました。

介護人材確保のための施策で経験・技能のある介護職員等を対象とした「介護職員等特定処遇改善加算」について、令和5年度は引き続き介護職員の処遇改善に重点を置くこととし、毎月の手当として支給しました。

また、保健師による研修会や職員面談を実施しました。より良い職場環境を整備していくために、メンタルヘルスやハラスメントなどの対応について研修や実践を重ねています。

さらに、業務継続計画（BCP）の策定と訓練等の義務化による経過措置の最終年度となり、計画策定の検討を行い、感染症対策の強化、頻発する災害などを想定した業務継続の取り組み強化について計画立案を行いました。感染症や災害が発生した場合であっても、ご利用者に必要なサービスが安定的・継続的に提供できるよう、医療機関や行政・地域住民との情報共有や訓練を実施し、緊急時の施設受け入れ等の相談対応機能をさらに整えます。

2. 事業別概況

(1) 社会福祉事業

①特別養護老人ホームあかねの郷

平成17年4月より日南町の指定管理を受けて、公設民営の小規模生活単位型施設として運営を開始し、18年が経過しました。令和5年度は、90床の受入体制として運営しました。

医療的ケアユニット体制や福祉用具を活用した安楽な介護の実践、24時間シートによる情報共有の取組み、介護支援システム『ライブコネクト』導入による業務改善と事故等リスクの検証を行いました。現状を把握し、課題を明らかにして今後の業務改善につなげます。また日頃の様子やイベントなどの様子を事業所内に掲示、SNSへ掲載し、広く事業所の取組みや様子を広報しました。

延べ利用者数 32,902名：通算利用率 99.8%(対定員 90)，前年度比 170名増

②老人短期入所事業（特別養護老人ホームあかねの郷）

令和5年度は、特養入居者の空床利用での運用としました。感染症対応中による利用制限や、他施設の定期利用もあり、昨年度より減少となりました。

延べ利用者数 1名（【支援】1名），前年度比 158名減

③老人デイサービス事業、障がい福祉サービス事業（生活介護）

個別機能訓練を通して、個々の身体機能に合った日常動作訓練やマシンを使ったパワーリハビリ等を提供しました。運動の他にも趣味を活かしたぬり絵や手芸の他に、パズルやクロスワードなどの脳トレも実施しています。また、特化型では運動だけでなく、ショッピングリハビリや外出先でのノルディックウォークなども取り入れ、楽しみながら身体を動かし MCI（軽度認知障がい）の予防にも努めています。年2回デイサービスだよりを発行し、ご家族にもデイでの様子をお伝えしました。

「あかねの郷」（定員一般型 45名：週6日開所，特化型 15名：週5日開所）

延べ利用者数 13,583名 前年度比 223名増

（【介護】7,803名，【支援】4,042名，【事業対象者】1,641名，【生活介護】97名）

④老人居宅介護等事業、障がい福祉サービス事業（居宅介護）

令和5年度、訪問介護事業所「ホームヘルプセンターにちなん」では、引き続きご利用者一人一人の状態に合わせて、在宅生活で本当に必要なサービスについて検討し、地域支援など社会資源を活用して生活を支える取組みをご家族、関係機関と協議し、サービス提供に反映しました。また、総合支援法による障がい福祉サービス（居宅介護）にも同様の取組みを実施しました。

延べ利用件数は、5,282件：前年度比 173件減

（【介護】2,286件，【支援】2,550件，【事業対象者】39件，【居宅介護】407件）

⑤認知症対応型老人共同生活援助事業

令和5年度は、2ユニット（18名）にて運営を行いました。

ご利用者とのかわりの時間を増やす取組みとして、カラオケ機器を使ったレク活動、体操やテラスでの野菜、花の栽培に加えて、出張販売で買い物をしていただくなどご利用者の活動の幅を広げてもらえるような取組みを行いました。日南小学校4年生 27名との交流を行いました。

延べ利用者数 6,567 名：通算利用率 99.6%(対定員 18), 前年度比 21 名増
【介護】 6,567 名)

(2) 公益事業

①居宅介護支援事業、介護予防支援事業

平成 17 年度当初から、在宅サービス利用者の利用計画、調整などの支援事業として居宅介護支援施設「ケアプランセンターあかねの郷」を運営しました。支援の利用対象者が若干増え、延べ利用数全体としては昨年度より増となりました。

延べ利用件数は、2,781 件：前年度比 51 件増

【介護】 1,325 件, 【支援】 1,318 件, 【事業対象者】 138 件)

②事業所内保育事業

令和 5 年度も日南町の施策支援（運営補助金、利用料軽減）を受けながら地域における公益的な取り組みとし継続して「事業所内保育事業」の運営を行いました。また、利用について法人として減免を行いました。利用は、平日スポットと土曜、祝祭日が主で、感染対策を行い、定期的な検温など体調管理に留意しながら過ごしました。

延べ利用者数 451 名：前年度比 21 名増

③介護職員初任者研修事業

介護の基礎的な知識や介護技術の習得を目指し、法人職員等の資格取得、スキルアップや地域における介護の担い手育成を目的に事業を実施しました。

・開講期間 令和 5 年 5 月 31 日～令和 6 年 3 月 13 日（総時間数 130 時間）

受講終了者 2 名

(3) 収益事業

①高齢者生活支援サービス事業

令和 4 年 8 月から有料老人ホーム『あかね荘』として、東上町 2 丁目を加えて、19 床として運営しました。町内の高齢者で独居あるいは退院後の生活に不安等がある方などを対象として、年間を通して入居できる体制とし、12 月中頃から 3 月中頃まで冬期入所を含めてほぼ満床で推移しました。

延べ利用者数は、6,806 名：前年度比 3,984 名増

以上の事業展開により、令和 5 年度の事業活動収支は、事業活動収入額 789,203 千円、事業活動支出額 768,203 千円、事業活動資金収支差額 21,000 千円となりました。

II 活動状況

1. 法人の運営

(1) 役員会等の開催

①評議員会

(出席評議員全員承認)

会議等	時期	内容
第98回評議員会	令和5年 6月22日	令和4年度計算書類及び財産目録の承認について 役員（理事及び監事）の選任について
第99回評議員会	令和5年 12月11日	令和5年度資金収支補正予算の承認について
第100回評議員会	令和6年 3月28日	令和5年度資金収支補正予算の承認について 令和6年度事業計画並びに資金収支予算の承認について

②<理事会開催>

(出席理事全員承認)

会議等	時期	内容
第159回理事会	令和5年 6月1日	令和4年度年度事業報告書並びに計算関係書類等の承認について 役員候補者の推薦案と議案提案について 第7回定時評議員会の招集について ライブコネクットの導入について 給与規程の一部改正について 育児・介護休業等に関する規定の一部改正について 準職員就業規則の一部改正について
第160回理事会	令和5年 6月22日	理事長の選定について 令和5年度夏期賞与の支給について
第161回理事会	令和5年 9月14日	あかねの郷LED照明更新作業について 給与規程の一部改正について
第162回理事会	令和5年 12月1日	令和5年度冬期賞与の支給について 令和5年度資金収支補正予算について 令和5年度第1回臨時評議員会の招集について
第163回理事会	令和6年 3月14日	令和5年度資金収支補正予算について 令和6年度事業計画並びに資金収支予算について 令和5年度第2回臨時評議員会の招集について 法人サーバー及び介護システム更新機器賃貸借に係る入札及びリース契約について

③<任意監査>

会議等	時期	内容
任意監査	令和5年 5月18日, 19日	令和4年度決算について

④< 監事監査 >

会議等	時期	内容
監事監査	令和5年 5月12日 ～5月19日	令和4年度事業報告並びに決算について (監査報告書 令和5年5月19日提出)

(2) 経営会議の開催

- ・ 管理会議 (隔週開催)
- ・ 運営会議 (隔週開催)

(3) 各種委員会の開催

- ・ 安全衛生委員会 (毎月開催)
- ・ 入居選考委員会 (毎月開催)
- ・ 苦情解決・接遇改善委員会 (不定期開催)
- ・ 苦情改善第三者委員会 (4月開催：書面にて)
- ・ 感染症対策委員会 (毎月開催)
- ・ 安全委員会 (毎月開催)
- ・ 身体拘束廃止委員会 (奇数月開催)
- ・ BCP 委員会 (偶数月開催)
- ・ 人材育成会議 (前期毎月開催、後期隔月開催)

2. 教育研修

(1) 内部研修

研修名	講師	参加者
管理・指導者の研修		
被考課者研修（3等級介護）	事業統括部長 入澤良子	32
コンプライアンス等に関する研修		
身体拘束廃止・高齢者虐待防止研修	事業統括部長 入澤良子	132
コンプライアンス研修動画 （その1、その2）	就業規則の改正に関する説明 ハラスメント等防止に関する規程の説明 〔 安田社会保険労務士事務所 安田社会保険労務士 〕	122
リスクマネジメント研修		
リスクマネジメント研修	事業統括部長 入澤良子 感染症対策委員長 田辺弘美	各部署
BCP研修（感染症対応）	事業統括部長 入澤良子	各部署
社会福祉施設等食中毒・感染症発生防止研修会	鳥取県西部総合事務所県民福祉局	5
感染症予防研修	感染症対策動画視聴 ガウンテクニック DVD 視聴と実技	131
安全衛生に関する研修		
管理職メンタルヘルス研修・ハラスメント研修	ヘルスプロモーションサポートオフィス 渡部保健師	17
職員メンタルヘルス研修・ハラスメント研修	厚生労働省 心の耳 動画視聴 セルフケア・ラインケア・ストレスチェックについて	全員

(2) 外部研修

研修名	主催者等	参加者
経営関係		
介護保険改正①②	介護労働安定センター	1
社会福祉法人会計実務セミナー	独立行政法人福祉医療機構	1
社会福祉法人会計実務研修 I ≪ 中級編 第2回 ≫	鳥取県社会福祉協議会	1
社会福祉施設経営法人連絡会	鳥取県社会福祉協議会	1
社会福祉施設 BCP 策定支援オンライン研修	鳥取県社会福祉協議会	4

事業計画策定セミナー	鳥取県小国会連合会	1
社会福祉法人人事・組織管理研修会	鳥取県社会福祉協議会	1
社会福祉法人会計実務研修会Ⅱ	鳥取県社会福祉協議会	1
都道府県経営協セミナー【後期】	鳥取県社会福祉施設経営者協議会	1
介護報酬改定セミナー	鳥取県老人福祉施設協議会	1
指定障害福祉サービス事業者集団指導	鳥取県西部総合事務所	1
鳥取県社会福祉施設経営者研修会	鳥取県社会福祉施設経営者協議会	1
社会福祉法人役員研修会	鳥取労働局	1
人材育成関係		
老人福祉施設職員研修会Ⅳ	鳥取県老人福祉施設協議会	1
女性リーダー育成セミナー	鳥取県・女星とっとり会議	1
中堅職員・メンター職員・次世代管理者向け指導者育成研修	介護労働安定センター	8
実習施設懇話会	大阪健康福祉短期大学(安来キャンパス)	1
リスクマネジメント関係		
福祉サービス苦情解決事業研修会	鳥取県老人福祉施設協議会	6
応急手当普及員再講習	鳥取県消防学校	1
福祉サービス苦情解決事業研修会	鳥取県社会福祉協議会	1
労務管理関係		
安全衛生管理活動計画書	鳥取産業保健総合支援センター	1
人材採用の真実がここに	ワイズマン	1
人材は奪い合う時代	ワイズマン	1
えんくるり「ひきこもりの状態にある方等の就労体験事業」説明会	鳥取県社会福祉協議会	1
外国人材採用の動向と受入の実例	ワイズマン	1
外国人材受入支援セミナー	鳥取県商工労働部雇用人材局	1
産保セミナー「睡眠とメンタルヘルス」	鳥取産業保健総合支援センター	1
良い人が採用できる組織が成長できる技術習得セミナー	オフィススギヤマ	1
介護労働者雇用管理責任者講習(総合コース)	介護労働安定センター	1
介護労働者雇用管理責任者講習(専門コース)	介護労働安定センター	1
人材力向上セミナー	鳥取県商工労働部雇用人材局産業人材課	1
安全運転管理者・副安全運転管理者講習	鳥取県公安委員会	2
女性のためのワークライフバランスセミナー	鳥取県女性応援課	1

両立支援コーディネーター基礎研修動画配信	独立行政法人労働者健康安全機構	1
転倒・腰痛等予防対策セミナー	鳥取労働局	1
メンタルヘルス関係		
勤労者のメンタルヘルス対策	産保セミナー	1
ほっと安心日南町こころの健康づくりネットワーク会議・研修会	日南町福祉保健課	1
人権・権利擁護に関する研修		
同和問題職場研修会	日南町同和教育推進協議会	37
障がい者虐待防止研修	鳥取県社会福祉士会	1
管理者等責任者向け高齢者虐待防止・権利擁護研修会	長寿社会課	1
介護支援専門員の実務に関する研修		
介護支援専門員更新研修	鳥取県社会福祉協議会	3
年度主任介護支援専門員更新研修	鳥取県社会福祉協議会	1
施設ケアプラン研修	鳥取県老人福祉施設協議会	1
介護福祉士の実務に関する研修		
介護専門職研修（コミュニケーション）	鳥取県社会福祉協議会	1
介護専門職研修（アンガーマネジメント）	鳥取県社会福祉協議会	3
介護専門職研修（看取り）	鳥取県社会福祉協議会	2
介護専門職研修（ポジショニング）	鳥取県社会福祉協議会	2
介護専門職研修（起床・移乗）	鳥取県社会福祉協議会	1
介護専門職研修（記録）	鳥取県社会福祉協議会	1
介護専門職研修（嚥下障害）	鳥取県社会福祉協議会	1
介護専門職研修（認知症）	鳥取県社会福祉協議会	2
介護専門職研修（レクリエーション）	鳥取県社会福祉協議会	2
介護専門職研修（指導者育成研修）	鳥取県社会福祉協議会	1
介護専門職研修（感染症）	鳥取県社会福祉協議会	2
介護専門職研修（新人研修）	鳥取県社会福祉協議会	2
介護専門職研修（口腔ケア）	鳥取県社会福祉協議会	2
介護専門職研修（褥瘡）	鳥取県社会福祉協議会	1
令和5年度鳥取県老人福祉施設職員研修Ⅱ	鳥取県老人福祉施設協議会	1
高齢者の睡眠と睡眠マネジメント		1
「介護の快護化」に向けた睡眠マネジメント	アテント	1
日常生活援助からはじめる褥瘡予防！	パラマウントベッド株式会社	1
鳥取県認知症介護基礎研修	鳥取県長寿社会課	2
鳥取県認知症介護実践者研修	鳥取県長寿社会課	4

鳥取県認知症介護実践リーダー研修	鳥取県老人福祉施設協議会	1
ユニットケアに関する研修		
ケア環境支援コーディネーター	全国個室ユニット型施設推進協議会	1
ユニット型施設看護師研修	全国個室ユニット型施設推進協議会	2
ユニットリーダー研修実地研修施設を目指すためのセミナー	鳥取県長寿社会課	1
実地研修施設へのスタートアップ 1-3	一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会	1
福祉用具等に関する研修		
床ずれ対策用具の上手な選定・活用方法	パラマウントベッド株式会社	1
リフトリーダー養成研修	公益財団法人テクノエイド協会	1
明日からの実践！マイクロクライメットの管理	パラマウントベッド株式会社	1
調理に関する研修		
食に携わる職員のためのユニットケア研修	日本ユニットケア推進センター	1

(3) 人材育成

① 新採用職員研修

令和5年4月3日開催

(令和5年度の新採用・令和4年度中途採用、4名対象の研修)

<研修内容>

- ・法人の理念と運営方針、職場秩序について
- ・就業の基本、給与規程
- ・安全衛生教育
- ・人事考課制度について
- ・地域医療と福祉
- ・感染症対策
- ・高齢者虐待と身体拘束
- ・緊急時の対応、リスク管理の基本

② 人事考課制度の運用

- ・働き方の指針（行動基準）及び業務標準（職種別）の内容見直し
- ・個別面談（一次考課）と内容の検証、整理、フィードバックの伝え方
- ・評価表、働き方の指針などのツールや考課期間、結果の反映について

③ 人材育成会議内容

- ・職員研修計画について
- ・社内研修報告について
- ・人材育成体制の充実化

(階層別研修：1年目研修4名、2年目研修3名、リーダー育成研修4名)

④ 法人内実践報告会

令和6年3月8日開催

※各報告を撮影してDVDに保存し、後日各部署で閲覧及びホームページにYoutube動画として掲載。

【職員報告】

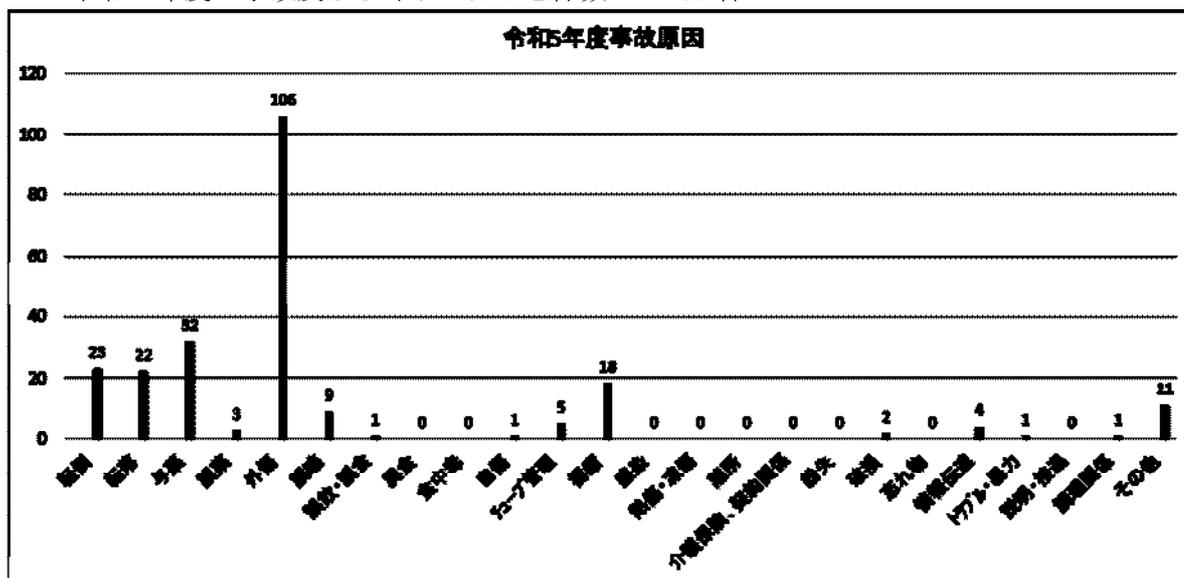
演 題	報 告 者
人事考課制度から考えること	グループホームあさひの郷 絹谷 和也
アンケートから見る ホームヘルプセンターにちなんの現状と課題	ホームヘルプセンターにちなん 山崎 良美
介護支援システムライブコネクトの導 入と今後の活用	特別養護老人ホームあかねの郷 手島 淳、渡邊 圭子

- ⑤ 令和5年度中の採用者数
 新採用者 4月1日 3名
 定年退職再雇用者該当なし
 中途採用者 13名

3. リスクマネジメント

(1) 特別養護老人ホームあかねの郷

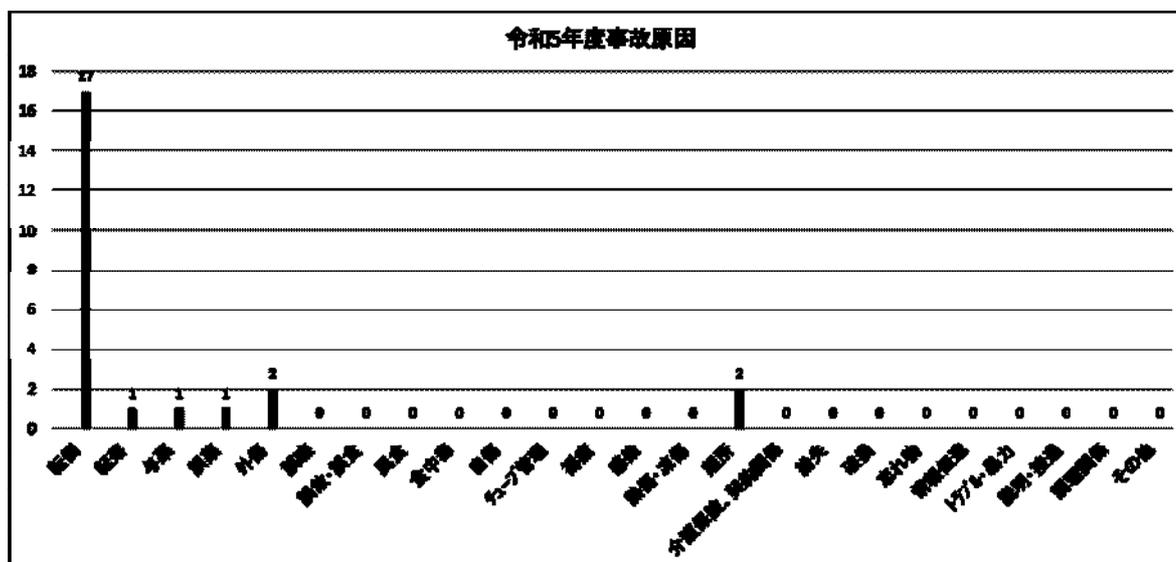
令和5年度 事故及びひやり・はっと件数 239件



- ・事故種類別に上位をみると、外傷 106 件、与薬 32 件、転倒 23 件、転落 22 件の順になっている。
- ・令和4年度と比較し、特養全体の報告件数は73件増加した。
- ・転落 10 件、誤薬 4 件減少したが、外傷 52 件、与薬 12 件、褥瘡 9 件、誤嚥 8 件、転倒 6 件増加した。

(2) グループホームあさひの郷

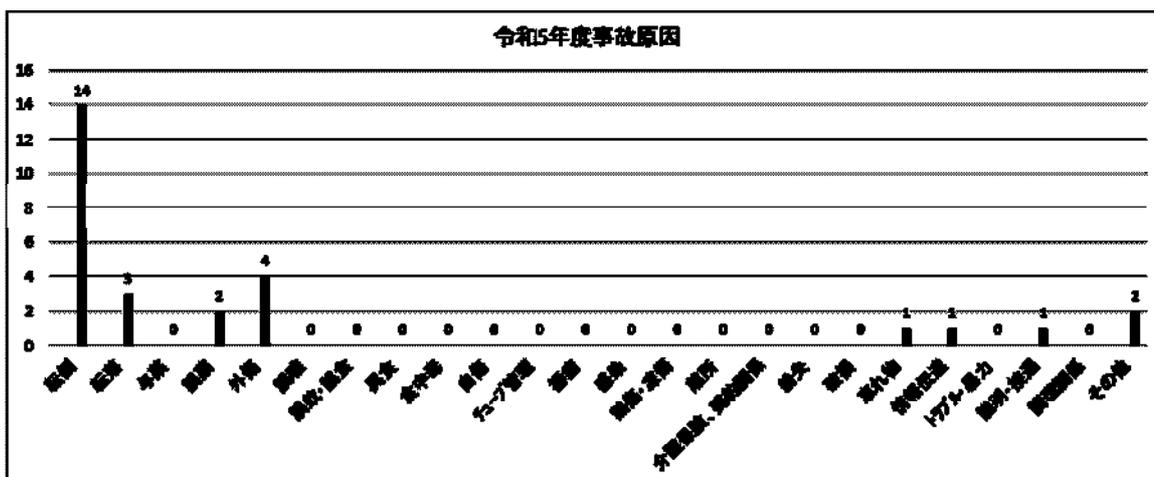
令和5年度 事故及びひやり・はっと件数 24件



- ・ひやり・はっと報告は、令和4年度と比較して全体で9件減少となり、主に転落3件、転倒2件、誤薬2件減少した。
- ・事故種類別に上位をみると、転倒 17 件、外傷 2 件、離所 2 件の順になっている。

(3) デイサービスセンターあかねの郷

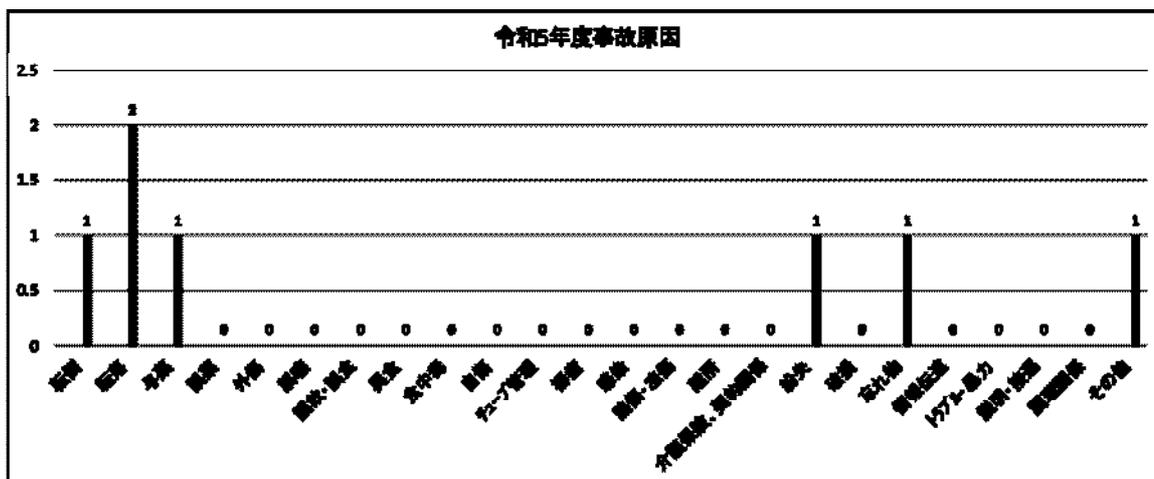
令和5年度 事故及びひやり・はっと件数 26件



- ・ひやり・はっと報告が全体で26件となった。
- ・事故種類別では、転倒14件、外傷4件、転落3件の順となっている。

(4) ホームヘルプセンターにちなん

令和5年度 事故及びひやり・はっと件数 7件

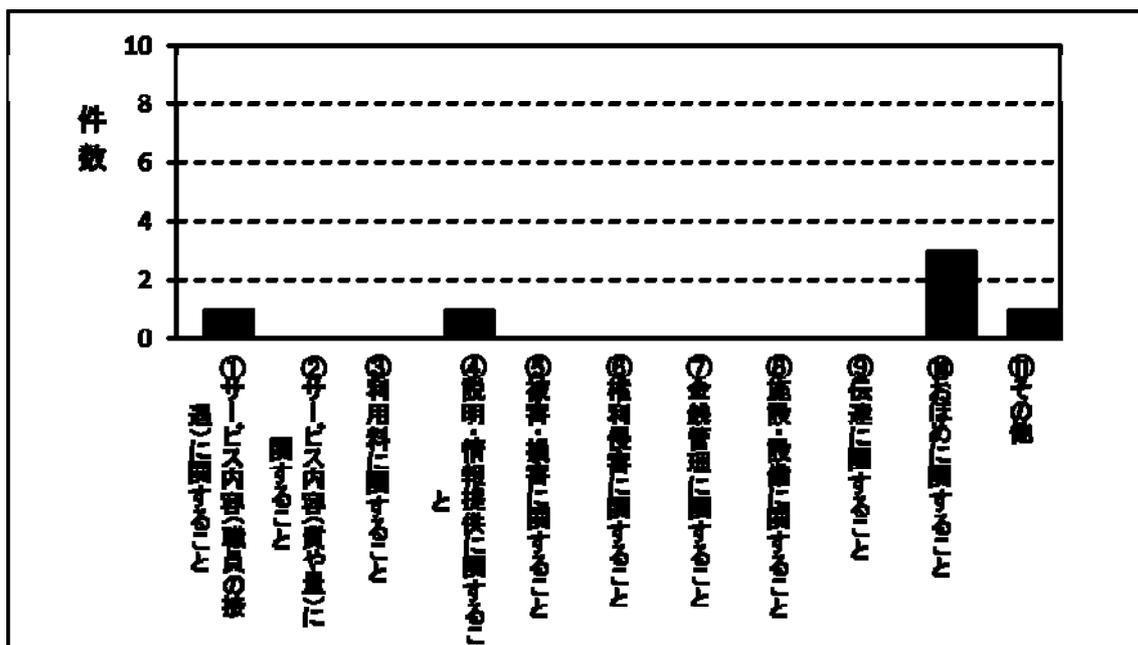


- ・ひやり・はっと報告が全体で7件となった。
- ・事故種類別では、転落2件、転倒、与薬、紛失、忘れ物、各1件となっている。

レベル0：実施されていないが実施されれば被害が予想される
 レベル1：実施されたが被害がなかった
 レベル2：事故により何らかの変化が生じ、観察及び検査の必要性が生じた
 レベル3：事故により治療の必要性が生じた
 レベル4：事故による被害が一生続く
 レベル5：事故が死因となる

4. 苦情、要望、意見、おほめ

<苦情、要望、意見>



・苦情、意見等の総件数 6件

- ・令和5年度の苦情、意見等の総件数は、令和4年度より1件多い6件であった。
- ・苦情、意見等の主な内容は、おほめに関するものであったが、苦情の主な内容は、退居時のご家族様への対応が不十分なことから苦情につながった。職員への指導、情報共有の徹底や必要な研修につなげることが課題である。
- ・ご利用者の日々の暮らしの情報提供として、引き続きスマートフォンでの動画撮影やオンライン面会などの工夫を行った。
- ・おほめの言葉も多く頂き、職員にとって大きな励みに繋がっており、感謝と喜びは充分感じながら、これに慢心することなく更なるサービス内容の充実に努めたい。

5. 地域貢献活動

(1) 実習等受け入れ

- ・琴の浦高等特別支援学校 6月5日～6月16日 (1名)
1月15日～2月16日 (1名)
1月22日～2月2日 (1名)
- ・新見公立大学 6月26日～7月22日 (2名)

(2) 視察・研修受け入れ

- ・日南中学校職場体験 7月4日～6日 (3名)
- ・9月6日 令和5年度学生のための福祉の職場見学支援事業
(県社協主催 日野高校2年生6名、教員2名、県社協職員2名)

(3) ボランティア及び寄付行為

- 令和5年度ボランティア実績 18件 95名
- 令和5年度寄贈実績
16件 (野菜、米、衣類等の寄贈)

○令和5年度寄付金実績 34件

(4) 講師等派遣

ホームヘルプセンターにちなんより日野高校介護職員初任者研修に係る社会人講師派遣を行った。

(5) イベント

住民シンポジウム 12月16日(日南町総合文化センター)

・看取りをテーマにした取り組み発表(特養)

6. 広報活動

(1) 広報あかね空 (年4回発行)

(2) 特養あかねの郷便り、ユニット便り、家族会便り(年4回発行)

(3) グループホームあさひの郷便り(年4回発行)

(4) ホームページ並びに Facebook 更新

(5) 求人広告・初任者研修・実務者研修実施について新聞折込(日野郡内4,300部)

7. 記事

(1) 4月3日、年度始め式

(2) 4月3日、新採用職員研修実施(介護職2名、リハ職1名、栄養士1名)。

(3) 5月、新型コロナウイルス感染症の5類感染症へ移行。高齢者施設として感染予防の観点からマスク着用にて面会可能とした。

(4) 6月4日、家族交流会・施設見学会を開催。

(5) 6月8日、県庁にて平井知事より「将来世代応援企業賞」の伝達を受けた。

(6) 9月2日、あかねの郷夏まつり開催(屋外での開催は4年ぶり)。

(7) 8月8日、中国地方郵便局長会から地域貢献事業の一環として、自動ブレーキ機能付き車いす1台寄贈。

(8) 8月29日、施食法要を行う。

(9) 9月24日、敬老祝賀式典を行う。

(10) 10月、特養あかねの郷に介護支援システム『ライブコネクト』本導入設置し稼働。

(11) 10月24日、鳥取労働局より「ユースエール認定」通知授与。

(12) 12月24日、あかねの郷施設照明LED機器へ更新作業完了。

(13) 1月4日、新年年始式

(14) 3月8日、日南福祉会実践報告会を開催。

(15) 3月24日、家族説明会・家族会総会を開催。

(16) 各事業所行事等について

・コロナ感染症対策を行いながら各事業所で季節の行事を実施。

・年間を通して誕生日のお祝い等を実施。

Ⅲ 運営状況

1. 職員管理

区 分		説 明						
職員 の 採用 ・ 退職 の 状況	①採用の状況 (うち再雇用)	介護員	看護師	理学療法士等	介護支援専門員	調理員	その他	合計
		8名 (0名)	2名 (0名)	1名 (0名)	1名 (0名)	2名 (0名)	2名 (0名)	16名 (0名)
	②退職の状況	退職日	定年退職	普通退職	期間満了	解雇	合計	
		令和6年3月31日付 年度中途	5名 -	0名 5名	3名 1名		14名	
	③職員数 (年度末時点)	令和4年度	正職員	嘱託	常勤準職員	非常勤職員	臨時	合計
令和5年度		91名	12名	17名	32名	2名	154名	
休業 の 取得 状況	①年次有給休暇の 取得状況	年間付与日数(最大)20日、翌年への繰越日数(最大)20日 一人当たり平均取得日数…10.35日 取得率(総取得日数/総付与日数および繰越日数)…33.11%						
		休暇の種類	休暇の内容				取得人数	合計取得日数
	②特別休暇の取得状況	リフレッシュ	年間3日間取得可能な特別有給休暇				139名	351日
		忌引	親族の喪に服したとき及び法要を営むとき等				13名	42,875日
		資格取得	職務に関係ある資格試験を受けるとき				0名	0日
		結婚	職員本人が結婚したとき				0名	0日
		配偶者出産	職員の配偶者が出産したとき				1名	3日
		産前産後検診	妊娠中または出産後1年を経過しない女性職員が 母子保健法に基づく保健指導または健康診査を受けるとき				5名	28日
		看護・介護	未就学児童の病気、けがの看護及び予防接種や健康診断・ 家族に2週間以上の期間にわたり常時介護の必要があるとき				7名	30,625日
	その他	理事長が必要と認めたとき(例:検査審議会、災害ボランティア等)				0名	0日	
③育児休業の取得状況	【新規取得】…6件 【期間延長】…1件 【前年度からの継続】…2件							
(3) 職員の懲戒処分 の状況 (処分件数)	【懲戒処分】…0件							
(4) 職員の研修 の状況	開催日	研修の内容					参加人数	
	5月	管理職メンタルヘルス研修					17名	
	4月～6月	身体拘束廃止・高齢者虐待防止研修					132名	
	7月～8月	コンプライアンス研修(録画視聴累計)					122名	
	10月～11月	介護専門職研修(介護福祉士の実務に関する研修)					23名	
	7月～1月	感染症予防研修(コロナウイルス感染症対策研修動画)					131名	
	7月～9月	認知症介護基礎・実践・実践リーダー研修					7名	
	7月～9月	リスクマネジメント研修					各部署	
	3月	実践報告会(集合・動画視聴)						
3月	被考課者研修(3等級介護)					32名		
福利 の 状況	①健康診断の状況	<令和5年度> 定期健診 141名(661,677円) 特定業務従事者検診 55名(429,550円)						
	②職員の福利厚生事業	<日南福祉会職員互助会> 加入数 131名 事業内容…慶弔給付,交流会(忘年会) ※職員旅行などは新型コロナウイルス感染症の 感染対策に伴い中止としました。						

2. 職員給与等

(1) 人件費の状況

区 分	サービス活動収益	経常経費寄附金収益	人件費	福利厚生費	人件費率
令和4年度	千円 766,034	千円 1,250	千円 577,293	千円 1,782	% 75.72%
令和5年度	千円 776,994	千円 588	千円 596,375	千円 1,969	% 77.07%

※人件費率 = (人件費 + 福利厚生費) ÷ (サービス活動収益 - 経常経費寄附金収益) × 100 (%)

(2) 職員手当の内訳

職員手当の内訳	区 分	役職手当	業務手当	資格手当	扶養手当	時間外勤務手当
	本年度	千円 5,956	千円 3,695	千円 9,457	千円 1,929	千円 3,450
職員手当の内訳	区 分	夜間勤務手当	非常出勤手当	年末年始手当	深夜勤務手当	宿日直手当
	本年度	千円 8,972	千円 10	千円 505	千円 5,282	千円 393
職員手当の内訳	区 分	待機手当	住宅手当	通勤手当	特定加算手当	
	本年度	千円 200	千円 6,701	千円 6,628	千円 4,942	千円
手当合計						千円 58,120

(3) 職員一人あたりの給与

令和5年度	平均本俸月額	231,271 円	令和5年4月1日格付による
	平均給与月額	286,017 円	令和5年度決算額による
	平均年齢	49.07 歳	令和5年4月1日時点による

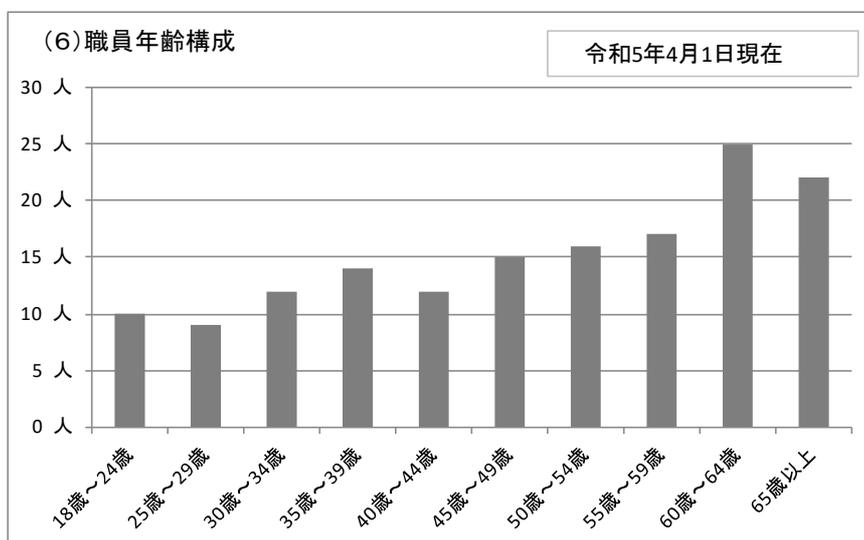
(4) 職員の賞与の支給状況

	正職員	準職員
夏期支給率	1.3 月	0.65 月
冬期支給率	1.9 月+α	0.95 月
支給率計	3.2 月+α	1.6 月

※正職員は人事考課結果を上乗せ

(5) 職員の初任給の状況

区 分		初 任 給 額	
介護職員 介護福祉士 生活相談員 サービス提供責任者 介護支援専門員	大卒 (四年)以上	176,800円	
	短大・専修卒 (二年)	164,000円	
	高卒	155,800円	
看護職	大学・ 看護学校卒	正看	220,000円
		准看	205,000円
理学療法士 作業療法士 言語聴覚士	—	208,000円	
管理栄養士	—	185,000円	
事務職員	大学院 修士課程修了	182,000円	
	大卒 (四年)	176,800円	
	短大・専修卒 (二年)	155,800円	
	高卒	149,300円	
調理員 栄養士	—	170,000円	
柔道整復師 あん摩マッサージ指圧師 鍼灸師 歯科衛生士	—	185,000円	



3. 役員報酬の支給状況

区 分	年 間 支 給 額	
役 員 報 酬	理 事 (7名※)	3,289,060円
	監 事 (3名)	113,732円
	評議員 (8名)	151,128円

※理事7名のうち5名は職員であり、役員報酬は支給していない。

<事業報告の附属明細書（定款第 34 条第 1 項第 2 号）>

令和 5 年度事業報告に係る「事業報告の附属明細書」については、社会福祉法施行規則第 2 条の 25 第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないため、作成しないこととする。

